



一戸建を買いいたい! 建売?注文?中古?

念願の一戸建マイホームが欲しい!でも予算の都合や間取りのことなど考えることがいっぱい!
建売がいいの?注文住宅?それとも中古住宅もいいのかな?どれがいいのか
比較するための情報がないと判断に迷ってしまいますよね。
「京急すまいるステーション」では資金面や様々なお好みに合わせてご相談に乗ります。

「新築」と「中古」をメリット・デメリットで比較すると…		
メリット 		
デメリット 		
新築	建売 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全て新品で設備機能も充実。 <input type="checkbox"/> 中古より多くの税制優遇が受けられる。 <input type="checkbox"/> 建物の長期保証やアフターサービスがある。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中古と比べると高価格。 <input type="checkbox"/> 希望エリアでの物件数が少ない場合がある。
	注文住宅 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 予算が立てやすい。 <input type="checkbox"/> 土地・建物合わせてローンが組める。 <input type="checkbox"/> 完成物件の場合、建物の状態を確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 間取りや設備・仕様が決まっている。 <input type="checkbox"/> 未完成物件の場合、建物状態・設備等の確認ができない。
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自分好みの建築会社に依頼できる。 <input type="checkbox"/> 間取り、デザイン、機能などが自分好みにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入居できるまでに時間がかかる。 <input type="checkbox"/> 建築会社・土地選びから家の細部に渡り検討するので手間がかかる。 <input type="checkbox"/> 建売や中古に比べてローン手続きなども手間が多い。 <input type="checkbox"/> こだわり過ぎると建築費が高くなる。
中古住宅	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 立地条件等が同じならば価格が安い。 <input type="checkbox"/> 希望エリアでの物件を探しやすい。 <input type="checkbox"/> リノベーション済みなら新築同様のきれいさで住める。 <input type="checkbox"/> 現所有者から近隣事情を詳しく聞ける。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> リフォームが必要な物件が多い。 <input type="checkbox"/> 保証期間が短い。 <input type="checkbox"/> 古い建物だと耐震性など住宅性能が劣る場合がある。 <input type="checkbox"/> 老朽化などが気になり、チェックが必要。 <input type="checkbox"/> ローンの返済期間に制限がある場合も。

どの項目を優先させるか検討しておきましょう

- 予算(ローンの返済計画も大事です) ▶どのくらいまで借入れ可能かなど先立つものは予算です。
- 中古の場合築年数 ▶中古といっても築数年～数十年と幅があります。
- 耐震性・断熱性 ▶地震国日本では気になるところ。耐震基準の改正年度などもチェック!
- 水回り等の設備 ▶バス、キッチン、トイレ、洗面台など特に女性は気になります。
- 中古の場合リノベーション済みかどうか ▶見た目にもきれいで最新の機能を備えた物件もあり、リノベーションの程度も様々。
- 立地 ▶利便性、環境など立地により金額にも影響します。
- 工法 ▶木造、RC造、2×4など、それぞれに特徴があります。
- 保証 ▶新築戸建と中古戸建の保障内容・期間もチェック。

MEMO 接道条件や建物の仕様・築年数により価格は様々です。
中古の場合はリフォーム費用も考えておく必要があります。

ご来店いただければ個人的なケースに合わせ、様々な角度の情報でご相談に対応します。
是非一度、お越しいただきお気軽にご相談ください。相談料は一切かかりません。